

簿記3級仕訳確認2

1. 東京株式会社は、現金 100 円を日の丸銀行の普通預金口座に預け入れました。

【仕訳】

2. 東京株式会社は、日の丸銀行の普通預金口座から定期預金口座へ 100 円を預け入れました。

【仕訳】

3. 東京株式会社は、日の丸銀行と当座取引契約を結び、現金 100 円を当座預金口座に預け入れました。

【仕訳】

4. 東京株式会社は、大阪株式会社に対する買掛金 100 円を支払うため、小切手を振り出して渡しました。

【仕訳】

5. 東京株式会社は、買掛金 120 円小切手を振り出して支払いました。なお、当座預金の残高は 100 円であったが、東京株式会社は日の丸銀行と借越限度額 300 円の当座借越契約を結んでいる。

【仕訳】

6. 3月31日、決算日において当座預金が 20 円の貸方残高であるため、当座借越に振り替えました。

【仕訳】

7. 9月1日、東京(株)では定額資金前渡法を採用し、小口現金 500 円を、小切手を振り出して小口現金係に渡しました。

【仕訳】

8. 9月4日、小口現金係が文房具代(消耗品費) 100 円とお茶菓子代(雑費) 200 円を小口現金で支払いました。

【仕訳】

9. 9月5日、小口現金係より、文房具代(消耗品費) 100 円とお茶菓子代(雑費) 200 円を小口現金で支払ったという報告を受けました。なお、小口現金係に前渡している金額は 500 円です。

【仕訳】

10. 9月8日、先週の小口現金係の支払報告に基づいて、小口現金 300 円を小切手を振り出して補給した。なお、東京株式会社では、定額資金前渡法を採用しており、小口現金として 500 円を前渡していました。

【仕訳】

11. 東京株式会社は、大阪株式会社から商品 100 円を仕入れ、代金は約束手形を振り出して渡しました。

【仕訳】

12. 東京株式会社は、横浜株式会社に商品 200 円を売上げ、約束手形を受け取りました。

【仕訳】

13. 東京株式会社は大阪株式会社に対する買掛金 100 円の支払いを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通じて債務の発生記録を行いました。

【仕訳】

14. 東京株式会社は、13 の電子記録債務について、取引銀行の当座預金口座から大阪株式会社の取引銀行の当座預金口座に払い込みを行いました。

【仕訳】

簿記確認問題 2

1. 普通預金 100 / 現金 100
2. 定期預金 100 / 普通預金 100
3. 当座預金 100 / 現金 100
4. 買掛金 100 / 当座預金 100
5. 買掛金 120 / 当座預金 120
6. 当座預金 20 / 当座借越 20
7. 小口現金 500 / 当座預金 500
8. 仕訳なし
9. 消耗品費 100 / 小口現金 300
雑費 200
10. 小口現金 300 / 当座預金 300
11. 仕入 100 / 支払手形 100
12. 受取手形 200 / 売上 200
13. 買掛金 100 / 電子記録債務 100
14. 電子記録債務 100 / 当座預金 100